

■温室効果ガス削減の目標

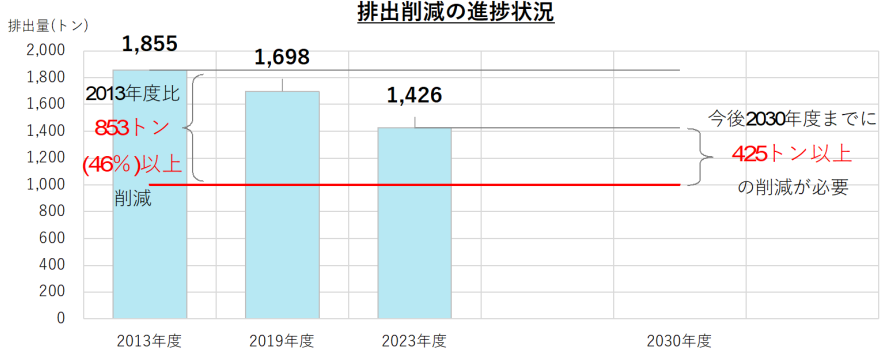
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (853トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

■温室効果ガス排出量の推移

米子空港の2023年度の温室効果ガス排出量は、2019年度比271トン減少の1,426トンである。
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後425トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)		
	2013年度	2019年度	2023年度
空港施設	1,779	1,607	1,335
空港車両	76	90	91
計	1,855	1,698	1,426

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数・・・2013年度：0.672、2019年度：0.636、2023年度：0.551

■2019年度～2023年度の温室効果ガス排出量の増減背景

米子空港の2023年度の航空機の運行回数はコロナ禍前 (2019年度) より微増したものの、主に契約されている電力会社の排出係数低下や脱炭素化施策の取組などにより、温室効果ガス排出量は2019年度に比べて減少した。

■脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	➤ 建築施設照明・外灯のLED化の取組が行われた。
空港車両に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
再エネ導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)